

第2回 亀田東児童館指定管理者申請者評価会議 会議録

日時	令和7年10月17日（金） 午前9時30分から
場所	江南区役所 3階 302会議室
委員	委員 小池 由佳 委員 渡邊 聡 委員 佐々木 直人 委員 土田 進也
事務局	江南区健康福祉課長、課長補佐、こども支援担当係長、児童福祉担当
傍聴者	6名
(申請者①)	1. 開会（非公開） 2. 江南区健康福祉課長挨拶（非公開） 3. 本日の評価の進め方について（非公開） 4. 申請者プレゼンテーション・ヒアリング（公開） プレゼンテーション
(事務局)	それでは、委員の皆様方から、ただいまのプレゼンテーションについて、質問などをお願いいたします。
(委員A)	私からは、4点、お願いいたします。 1点目、事前にいただいている資料に、いのちの安全教育というのがあります。これの実践状況、すでに取り組んでおられるかどうかと、もし取り組んでおられるようでしたら、その反応についてお聞かせください。 2点目は、亀田東児童館を受託した場合、配属予定の職員たちの資格、有資格者をどの程度、どういう資格のある方々を配属予定なのかをお聞かせください。 3点目は、利用人数の増加に向けて、どのような工夫をされる予定かお聞かせください。 4点目は、新潟市では今、子どもの意見聴取について力を入れておられます。そこについて、新潟市との協力体制をいかに作っていくことができるか、以上4点についてお聞かせください。お願いします。

<p>(申請者①)</p>	<p>まず、1の質問、いのちの安全教育について、現在受託している味方児童館としては子どもたちや保護者に向けての実績はないのですが、今後、そういったことを計画はしております。今年の冬もしくは来年度の春に、子どもたちに向けて、命の安全について、防犯といったところの、自分の命を守る講座のようなものを予定しております。職員だけで行うということもそうですが、地元の交番の方も派遣させていただきまして、プロの方による命の守り方についての教室を開く予定です。</p> <p>2の亀田東児童館の配属の有資格者について、現状では社員2名、残り4名に関しましてはパート、アルバイトを配置し、施設長である社員1名は、保育士資格を有している者を配属する予定となっております。残りの社員1名、あと、パート、アルバイトの4名につきましては、児童厚生員の有資格者の雇用を予定しているところです。</p> <p>続きまして、3の利用者増の取組みにつきましては、我々、地元の企業ということもありまして、広報の充実ももちろんですが、地域との連携が非常に重要だと考えております。地域との連携として、お祭りやイベントの参加ももちろんですが、ただ行くだけではなくて、我々のほうでイベントの開催並びに地域の方の声掛けも行い、地域一体となった児童館運営をさせていただいて、利用者増を図っていく予定となっております。</p> <p>4のこども会議につきましては、現在、味方児童館でも月に1回、こども会議というものを行っております。第1回、味方児童館をこれから良くしていくにはどうしたらいいかということをテーマに発足しまして、第2回は、子どもたちの意見を吸い上げて、そこからどんどんテーマを変えていくようなやり方をしています。現在、子どもたちみんなが楽しめるイベントをしたいという声が上がっており、では、どんなイベントがより楽しめるのか、みんなで考えました。そこでサッカーの大会をしたいとか、クリスマスが近いのでクリスマスのイベントをしたいといった意見が上がりました。第3回については、そのみんなで企画した、できそうなイベントをピックアップして、みんなで計画していくような形をとっております。来月の2週目にこども会議をまた計画しているのですが、新潟市との連携はまだ図っていないところで、味方児童館独自で今、やらせて</p>
---------------	---

	<p>いただいているところですので、新潟市とこども会議との連携も図りながら、より深いこども会議ができるように、こちらとしても動いていきたいと思っております。</p>
(委員 B)	<p>私から、2点質問したいのですが、1点ごとに回答いただきながらという形にさせてください。</p> <p>まずは、今回、対象施設が児童館ということで、ハード面、児童館の設備自体は既にある中で、あと変えられる点となればサービス、要は人の部分と、追加で何か物を買うのか更新するのか、人と物の部分になってくると思いますが、人と物とどちらに力を入れていきたいとかはありますでしょうか。</p>
(申請者①)	<p>人と物、どちらに力を入れていくかですけれども、どちらも力を入れたいというのが本音です。人の部分に関しては、職員ないし我々本部としての関わりも非常に重要ですし、一番大事な保護者の方、子どもとの関係性を築くうえでも非常に重要になってくることだと思っていますので、人に関しては力を入れないというのはまず、言い切れない部分があります。どちらかという、どちらもなのですが、物に関しては、新しいものをただ購入するだけではなくて、例えば、12月におもちゃを購入して、クリスマスのみんなへのプレゼントみたいな企画をさせていただいたり、ただ与えるだけでなく、イベント性を含めた楽しいイベント、物を提供させていただくとともに、もちろん人は重要になりますので、どちらも重要という形で、力を入れていければと考えております。</p>
(委員 B)	<p>続きまして、今の質問を踏まえて、収支計画書の令和9年度以降は先のことになるので流動性があるとして、受けられた場合、令和8年度、すでに数か月後の話なので一番固定というか、一番現実的な部分かと思いますが、以前、区役所からもらっている資料ですと、令和6年度の現指定管理者の人件費は1,420万円でしたが、令和8年度予算、人件費が1,370万円で、令和6年度から比べると50万円ほど下がっているのです。例えば、令和7年度は動いているのでまだ見えてきてはいないでしょうけれども、最低賃金も60円くらい上がっているのです、令和6年度の1,420万円よりは上がってい</p>

	<p>ないとおかしいよねという発想になるのですが、そのうえで、令和8年度、来年受けられた場合、人件費が50万円下がりますというのは、何というか、人に力を入れるというお答えもいただいているのですが、職員の満足度がそのまま利用者の子どものに伝わるとすれば、その辺りは大丈夫ですかという質問です。</p>
(申請者①)	<p>令和6年度の1,400万円を加味して、我々も試算させていただきましたが、現状で言いますと、我々の有資格の専門的な職業の方に対しての賃金として、施設長に関しては380万円を予定しております。職員1名に対しては350万円を予定しております。パート、アルバイトにつきましては、今は新潟市の最低賃金が1,050円になっていますが、今回、試算した最低賃金、専門職といったことも加味して、1,200円で計算しています。最低賃金よりも上の金額で試算していますので、満足度も含めて特別低いといった金額設定はしておりませんので、心配はないかと考えております。</p>
(委員C)	<p>私は地域の代表として、二つ質問させていただきます。地域、コミュニティという感じで言うと、やはり子どもたちからお年寄りまでという形で、認知症などといった課題が出ていて、子どもの施設ではありますが、地域と関わるといった意味では、私たちはどうしてもそこが避けられないところで、ご協力できる点があるのかというところと、イベントで地域にボランティアみたいな形で募集される時に、今は良いのですけれども、この先なかなかボランティアというだけでは、地域としても人を出せないこともあるので、その辺うまくお手伝いできる、協力できる、何かアイデアというかがあったらお聞かせいただけたらと思います。</p>
(申請者①)	<p>まず、後者のイベントに対しての協力体制に関しては、事業計画書にも記載させていただいているとおり、我々、地元江南区に企業を構えておりますので、基本的な考え方としては、ボランティアの募集はもちろんさせていただきますが、地元企業があるということもありまして、本部からのバックアップ体制が非常に強化できる形となります。もし、何かイベント等でお困りごとがありましたら、我々本部からも人の派遣をさせていただきますので、その辺に</p>

(事務局)	<p>で、これからもしっかりとやっていきたいと思っております。</p> <p>続きまして、賃金の上昇につきまして、確かにこの10月で大体6.5パーセントほど最低賃金が引き上げになりましたけれども、ちょっとなかなか先行きが見通せないところもありまして、企業努力と、あと、先ほど話がありましたけれども、そもそも若干高めの賃金になっておりますので、そういったところを見極めながら、新潟市と協議のもと、しっかり賃上げをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>ほかに、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、プレゼンテーションとヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。</p>
(申請者②)	<p>プレゼンテーション</p> <p>(事務局) 委員の皆様方から、ただいまのプレゼンテーションについて、質問などお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>(委員D) 私から労務管理に関して1点だけ。いただいていた資料の事業計画に有給休暇を取らせる義務を最大40日、法定ということだと思うのですが、収支計画書の内訳書、例えば、令和8年度の人件費のところに、給与とは別に有給取得見込みと分けて書かれています。それはどういった理由で分けて書かれているのか、例えば、有給は取得したら労務の義務が免除され、取得しなかったら普通に働いて給料が出るというだけで、単純に給料に含めても問題ないものなのではないかと思ったのですけれども。</p> <p>(申請者②) 給与とは別に有給休暇取得見込みを別枠で入れさせていただいたところですが、有給休暇をご本人が取得する際に、代わりの、弊社でいいますと代替員を立てさせていただきます。そのための費用ということで、有給休暇を取得した方の費用分プラス1名分の人件費だとか、その人の代わりに入る方の労務費分ということで、別枠で入れさせていただきました。よろしかったでしょうか。</p>

(委員D)	要は、別の従業員の所定外労働の分ということですか。
(申請者②)	そうでございます。
(委員B)	<p>私から1点、区役所から以前提供いただいた現指定管理者の令和6年度の決算額における人件費が1,420万円なのですが、令和7年度は、現行動いているので見えないとして、収支計画書の直近、令和8年度を見ますと、人件費、約1,317万円で、令和6年度から比べれば100万円ほど少なくともできますよという提案になっています。逆に、先ほどのプレゼンの中では、現状の方々の雇用の維持ですとか給与水準の維持といったものも検討されていると。なおかつ、もちろん社内での異動等も考慮されますが、人件費が令和6年度より100万円ほど落ちていて、なおかつ現状の方々の水準を維持できますというのはどういう見込みでやられるのか、言える範囲で良いので、お聞かせ願いたいです。</p>
(申請者②)	<p>当然、今いらっしゃる方が残っていただく場合は、現状の給料のアップはさせていただきます。ただ、当然、新規採用であったり社内異動におきましては、そこよりも下げて対応しようと思っておりますし、運営する中でも、私たちの今までの児童館運営の実績を加味して、不要なシフトをカットすることで安く抑えることが実現可能となっております。</p>
(委員B)	<p>一応、念のため、それをやったとしても、安全的な配置や子どもの安全性、そういったものに影響はないということによろしいですか。</p>
(申請者②)	もちろんでございます。
(委員C)	<p>私は2点お聞きします。事前にいただいた資料の学習や遊びに関する連携のところで、幼稚園、保育園、中学、高校とありますが、亀田東児童館の目の前にある小学校をあえて抜いているのかというところと、場所柄的に住宅街の中にあるところなので、いろいろなイベントをやっていただく、盛況することは良いのですが、地元と</p>

<p>(申請者②)</p>	<p>の関係性が大事になってくると思うのです。地域のネットワークの中で地元というところはあまり出てこないの、その辺、どうなっているかをお聞かせいただければと思います。</p> <p>地元の方々とは連携をしっかりとさせていただきたいと思っすし、自治会等、ごあいさつしたうえで何か協力できること、また、協力していただくことということでお話をさせていただきたいと思っております。私たちにお任せしていただいた場合、当然、私たちのやり方がこうというものではなくて、今までのやり方をしっかり検証するということと、地域の方々の協力をお願いするという考えで動こうと思っておりますので、そこはご安心いただければと思います。</p>
<p>(委員A)</p>	<p>では、私から3点、伺いたします。</p> <p>1点目は、資料の児童館における不登校児童へのかかわり方のところで、不登校のお子さんの中で現在7名の子どもが児童館を居場所として利用しているとありますけれども、これはどこのデータか教えてください。</p> <p>2点目は、受託された場合、配属される職員の方々の資格についてお聞かせください。</p> <p>3点目は、今、新潟市では子どもの意見聴取について力を入れておられます。市とのこの点に対する協力体制について、お考えがありましたらお聞かせください。</p>
<p>(申請者②)</p>	<p>不登校におきましては、今、私たち、児童館運営、放課後児童クラブの運営をさせていただいております。その中で、不登校の子を一部お預かりしている人数を入れています。子どものお話を聞くと、学校には行きづらいのだけれども、放課後児童クラブや児童館であれば来ることができますよということで、一旦私たちの中でお預かりしております。そこから学校と連携したうえで、その子の宿題であったりというのをこちらでお預かりして、教えることはできないので、やるように背中を押すという形で対応させていただいております。</p> <p>資格に関しましては、原則、児童厚生員を配置させていただくと</p>

	<p>ということで、常勤に関しましては3名全員が有資格者を配置させていただきます。</p>
(委員A)	<p>すみません、1点、保育士を配属される予定はありますか。</p>
(申請者②)	<p>ございます。</p>
(委員A)	<p>それは確実に。</p>
(申請者②)	<p> そうです。保育士も揃えていろいろな目線からというところで、面接のときに教員免許、保育士、児童厚生員を採用の資格のポイントとして置いております。乳幼児さんも午前中は幼児さんタイムというところで近隣の方々、保護者を含めて利用があると思いますので、保育士の有資格がいないと相談等も取れないかなと思っております。乳幼児さん向けの方の常勤というところで、保育士も揃える予定でございます。 </p> <p> 続きまして、子どもの意見の聴取のお話をさせていただきます。私たち、今年度、一番力を入れている内容になっておりまして、子どもの意見を尊重した運営を心がけようと考えております。その中で、昨年度までもこども会議という名前でさまざまな場所で、子どもの意見を取り入れていましたが、実態を見ますと子どもたちに児童館で集まっていたいただいても、率先して会話をしてくれる子、来てくれたのだけれどもなかなか自分の意見が言えない子というのがいました。その子たちが意見を言いやすい環境を作ろうよということで、意見を言う紙を用意したり、マルやバツのプレートをお渡ししたりして、意思表示ができる環境を整えております。さらに、子どもが率先してできるように、子ども用の取扱説明書、動画を用意して、司会者がそれを見て学んで始めるという形を取っています。自治体様との連携におきましては、子どもたちに自分たちでやりたいことでお題を考えてもらうケースもあれば、一部、自治体様から、こういうお題で子どもたちから意見をもらえないかという相談をいただき、子どもたちをお願いして意見を集めて自治体様に提出するという形もやらせていただいておりますので、そこは今後の中で自治体と相談しながら進めていきたいと考えております。 </p>

(事務局)	<p>ほかに、質問はいかがでしょうか。</p> <p>それでは、以上をもちまして、プレゼンテーションのヒアリングを終了いたします。どうもありがとうございました。申請者は退室をお願いいたします。</p>
(申請者③)	プレゼンテーション
(事務局)	委員の皆様から、ただいまのプレゼンテーションについて、質問などをお願いいたします。
(委員C)	<p>2点、地域社会貢献活動の取組みの中に、地域の方とともに中高生の居場所を作り見守り活動をしますとありますけれども、具体的にどういったことが地域としてできるかというところと、また、今まで運営してきた中で、地域とも関わりながらこういったことができたとか、これからこういった地域とのかかわりができるということがあれば、教えていただきたいと思います。</p>
(申請者③)	<p>最初に、中学生の居場所というところでお話しさせていただきたいと思います。今、実際に、中学生が毎日来館してきており、ほぼ来館者数が去年の2倍になっています。ただ、亀田東児童館が小規模児童館ということで、特に平日の夕方は園帰りの子どもと小学生と中学生が入り混じってしまい、中学生にとって、果たして安全な空間であるのか、小学生にとっても安全な空間であるのかというところで、私たちは、今後、中学生にとって落ち着ける環境をどのように作っていったら良いのか、行政、学校ともそうですが、地域の方々と一緒になって考えていきたいと思っております。</p> <p>今、亀田地区コミュニティセンターも学習の場ということで開放されてはおりますが、まだ周知と利用が中学生はなかなか低いということで、その辺も皆様と考えながら、地域の中にはこの場所もあるんだよ、こんなふうに過ごせるんだよというところで、江南区にはフェスという居場所もありますので、全体で一緒に中学生の居場所を考えていけたらいいなと思っております。</p> <p>あともう1点、地域の方々から今までいろいろなお祭りとかにも</p>

	<p>参加をしていただき、私たちのイベントはとても助かっています。ただ、少子化時代ということで、人間と人間とのかかわりがとても薄くなってきているなというのは実際に感じておりますので、人との縁は大事であるということから、どんどん地域の方々にも児童館の行事に足を運んでいただきながら、子どもたちの様子を実際に見ていただきたいと思います。親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”（B P 1 プログラム）を私たちの自主事業でやっておりますけれども、子育て世代の小さな子どもを抱えた方々がどのようにいるのか、民生委員の方々、主任児童員の方々も知りたいという声を実際に聞いておりますので、ぜひ、その講座にも声をかけて参加していただきながら、こういう子育て世代の親子たちがいるということも見ていただきたいと思います。</p>
(委員B)	<p>私から1点。実際に運営していらっしゃるということで、令和6年度の決算額と令和8年度の収支計画書を比較しますと、非常に妥当な数字が並んでいるなという印象ではありますが、逆に言うと、スライドしてそのまま数字が動いているなと感じられます。数字上は、こういったところに力を入れていきたい、それとも現状維持でいっているのか、そういったところがなかなか見えないような収支計画になっているのです。その中で、数字で見たときに、こういった部分は力を入れて作りましたとか、そういった部分があれば、ぜひ、教えていただけるとありがたいです。</p>
(申請者③)	<p>収支計画については、おっしゃるとおり現在の実績をベースに組んであるところは間違いなところではあります。そのうえで、スライドにもありましたとおり、年々利用者の増加をイメージしておりますので、その増加に比例した形で、例えば、保険料といった変動費のあたりが表現されているという状態になっております。</p>
(委員D)	<p>私から2点ほど、労務管理の関係で、事業計画書の賃金について、賃金水準スライドに準じということで、様式8をご覧くださいとあって、様式8を拝見すると、賃金スライド、1年目、2年目、3年目、4年目、5年目、全部同じ数字が入っているようです。私の認識が間違っていなければ、2年目、3年目で最低賃金の上昇に</p>

	<p>準じてアップしていくところです。ただ、読み方はなかなか難しく、対象人件費といったときに、この人件費をベースにそれをさらに上げていくというように考えてのものなのかなというところと、昇給等の仕方について、賃金水準スライド反映方法で、個別に給与規定を決めていきますよというようなことを書かれていたと思いますが、何か最低賃金に連動するような人事評価制度だったり賃金テーブルみたいなものがあるかということ。あと、マクロな話になってしまうのですが、その次のページに期間の定め有り・基本的に継続とあります。これは契約更新の可能性ありというところで、労働者側からもう辞めますと言わない限りは続くということでしょう。</p>
(申請者③)	<p>まず、賃金スライドの話から。おっしゃる通り、後者の考え方、基準値になるものだととらえていただければよろしいかと思います。この後、新潟市さんとお話をしたうえで、実際の、全体のベースアップが行われるととらえていただければ間違いないです。そのうえで、これはあくまでも予算の範囲内ですが、いわゆるピラミッド型のキャリア経験や資格などに応じた昇給テーブルというものを設けているところです。基本的には予算の範囲内で収める想定ではありますが、その後、賃金スライドの対応によってはテーブル自体がベースアップするととらえていただければ間違いないかと思います。</p> <p>2点目の期間の定め部分は、おっしゃるとおり、実質的には無期雇用に転換するものだととらえて間違いないところです。労働条件、通常は指定管理の期間で一度区切りは作りますが、概ね、現在もその後も継続、ネガティブな話になってしまいますけれども、仮にここではない職場になる要因が生まれたとしても、それはそれで法人側は別の職場を用意する。あとはご本人の選択となってきますので、概ね無期雇用であるということで間違いありません。</p>
(委員A)	<p>私からは3点お願いいたします。</p> <p>1点目、現在、児童館で2事業運営されていると思います。それにプラス親子の居場所みたいな事業を展開されていて、今回受託されると四つの事業になると思います。団体全体の運営に関する体制</p>

	<p>強化はご検討されているかどうか、お聞かせください。</p> <p>2点目は、もし受託された場合に配属される職員の資格について、どのような資格を有しておられる方々を配置予定かお聞かせください。</p> <p>3点目は、今、新潟市では子どもの意見聴取について力を入れておられます。この点について、指導の協力体制について、お考えがありましたらお聞かせください。以上、3点です。</p> <p>(申請者③)</p> <p>私たちの運営についてお話しさせていただきます。</p> <p>体制強化につきましては、今、育休中の職員が二人おります。そして、今現在、亀田東児童館で働いている職員はそのまま継続でごまのたねの職員として働くことになります。新しい事業を始める、それから白根南児童館、白根北児童館についても、人数は現在、充足しております。</p> <p>収支計画書でも表現されていますが、おそらく、管理体制というかバックアップ体制の部分が比例して広がっていくものだと想定していただいて間違いないです。</p> <p>次に、資格です。職員が占める資格は保育士がほとんどになるのですけれども、資格のない人間が児童館で働き1,800時間を経て児童厚生員になる、それから数々の研修を受け、スキルアップしていくというようなことやっておりますので、ごくまれに新規で入ってきたまったく無資格の方がいらっしゃることはありますが、多くは児童厚生員、保育士、幼児教員というような有資格者になっております。</p>
<p>(委員A)</p>	<p>確認ですが、保育士を配置される予定はありますか。</p>
<p>(申請者③)</p>	<p>亀田東児童館についてですね。今現在も配置しておりますので、そのまま継続して配置を行います。親子もととても多いですので、そういうようにしていきたいと思っております。</p> <p>あと、子どもの意見の聴取について、市とのかかわりについて、お答えいたします。今現在、児童館運営や子どもの居場所の運営の中で、子どもの声を聴くとか、それを形にしていくことに、とても力を入れております。子どもたちも、非常に生き生きと発言、意見</p>

	<p>表明してくれています。やはり、自分の声を聴いてもらえるとか感情を受け止めてもらえることの重要性を改めて今、痛感しているところです。現場の中ではとてもそこに注力していますが、新潟市とのかかわりの中でといいますと、毎月の定例会の中で報告申し上げたり、それから、子どもの声から出てきた内容について、地域の方とお話をすることもあります。それを実現可能なのか、地域の方と一緒にやったら実現可能なのか、行政の担当者の方とお話することで広がっていくのか、社会資源をいろいろ駆使しながら、私たちの中ではつながっていているのではないかと考えております。</p>
(事務局)	<p>すみません、事務局から一つお聞かせください。</p> <p>そちらの団体は令和6年5月に設立した若い、本当にフレッシュな団体で、今、南区で児童館を請け負っていらっしゃる中で、先ほど賃金という話がありましたけれども、職員の賃金を保証する体制、資本金という部分は、決算の内容も含めて、南区で支払いは滞ることなく順調にやっていっているのかと、あと、亀田東児童館における展望もお聞かせいただければと思います。</p>
(申請者③)	<p>資金繰りととらえてよろしいでしょうか。</p>
(事務局)	<p>はい。</p>
(申請者③)	<p>資金繰りに関して言いますと、まさに白根北児童館、白根南児童館は順調に進んでいるといいますか、運営しているところです。亀田東児童館に関して申しますと、指定管理料の入金のペースが、仕様書のとおり年5回としまして、従来と同じペースであれば、目分量ですけれども、概ね400万円程度のキャッシュがあれば回るかなと考えております。現在、決算書と数字は変わりませんが、9月末現在の現金預金の保有状況も1,300万円ございますので、いわゆる世間一般の安全圏である3か月以上はキープできているかなと考えております。</p>
(事務局)	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>それでは、以上をもちましてプレゼンテーションとヒアリングを</p>

	<p>終了いたします。ありがとうございました。申請者の方は退室をお願いいたします。</p>
	<p>5 評価委員による意見交換、採点 (非公開)</p> <p>＜休憩＞ 採点集計</p> <p>6 採点結果について (非公開)</p> <p>7 採点後の意見交換 (非公開)</p> <p>8 結果公表について (非公開)</p> <p>9 閉会 (非公開)</p>